

三重県少子化対策推進県民会議資料 2014.7.18

「パパスマイル四日市」について

パパスマイル四日市とは

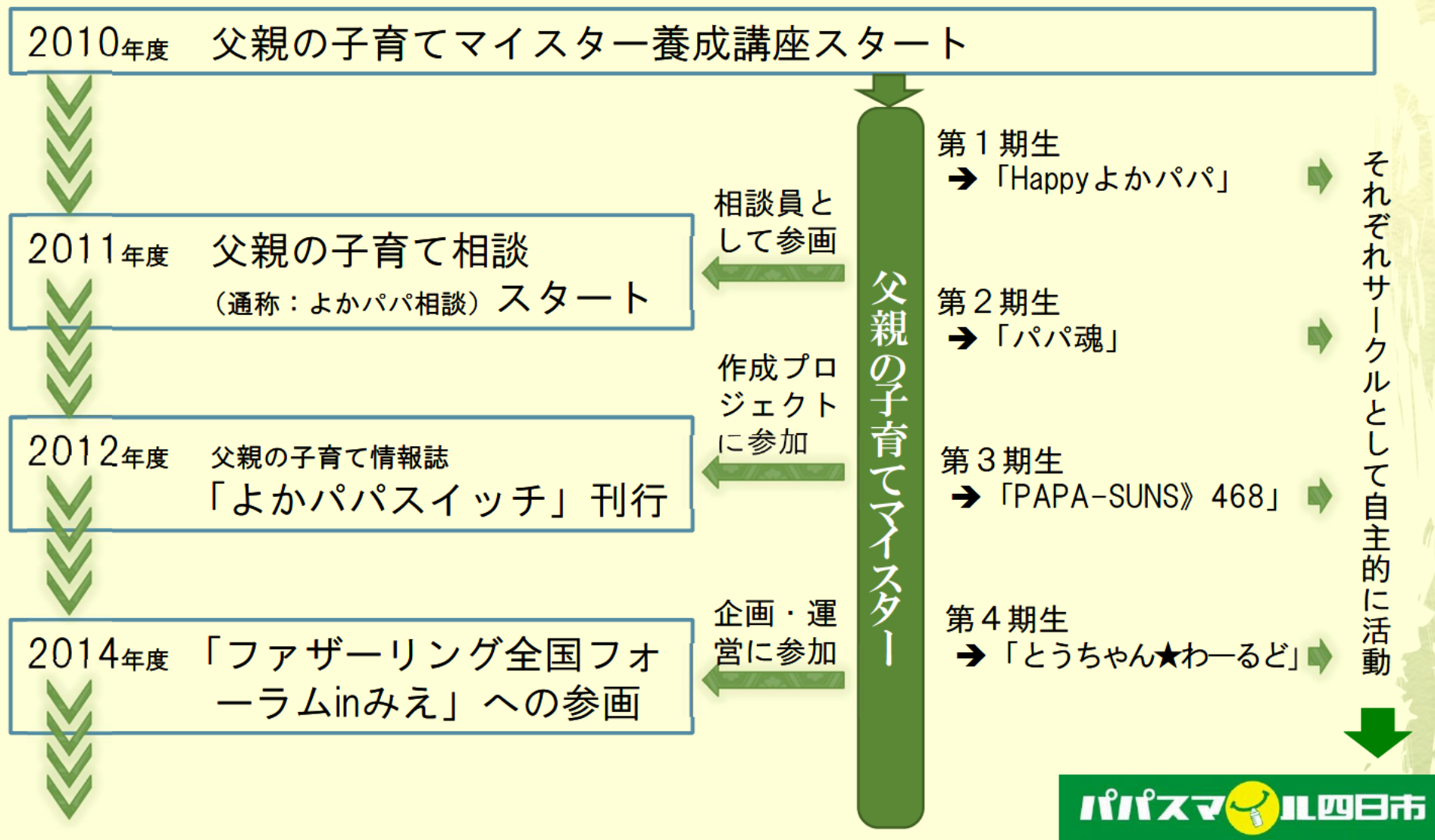
- 四日市市主催の「父親の子育てマイスター養成講座」の修了生、つまり、マイスターたちが立ち上げたグループです。
- 6月に開催された「ファザーリング全国フォーラムinみえ」に向けて、2014年1月から活動を開始しました。
- それまでは、修了した「期」ごとに活動していましたが、全国フォーラムを機に、「期」を越えたグループになりました。

父親の子育てマイスターは…

- 2010（平成22）年度から、四日市市が開催している「父親の子育てマイスター養成講座」の修了生で、計73人が認定されています。
- マイスター認定者は、父親の子育て参加を普及し、育児を楽しむ「笑っている父親」を増やすための活動に参画します。



四日市市におけるこれまでの取組



このように、四日市市における父親に関する取組は、「行政」と「市民(マイスター)」とが協働で進めています。

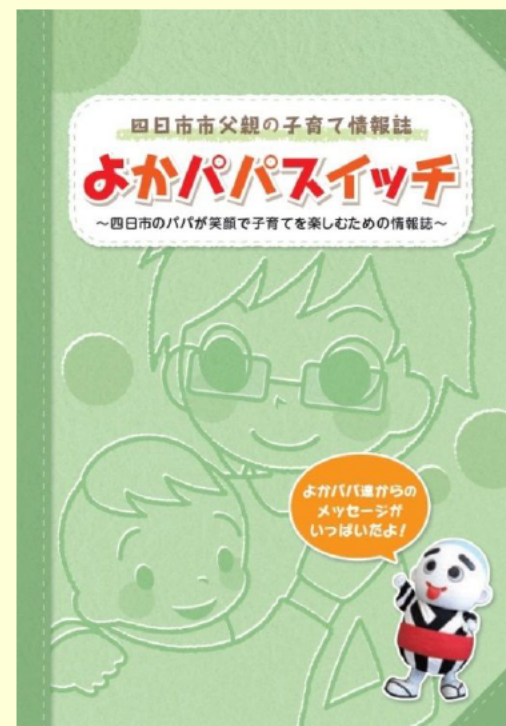
父親の子育てマイスターの活動

父親の子育て相談
(通称:よかパパ相談)



- 子育て中の父親や母親らの話し相手になったり、子どもとの遊びを通して交流を図ったりしています。

父親の子育て情報誌
「よかパパスイッチ」



- 子育てを楽しもうというメッセージを込めて作成しました。

父親の子育てマイスターの活動

『ファザーリング全国フォーラムinみえ』への参画
(市と協働し、分科会「パパのスマイル発信会議！」を開催)



- 他の父親がどんな「パパライフ」を送っているのかを知ってもらい、気楽に、そしてちょっとした工夫で楽しみながら家事・育児にかかわれるよう、「共感」と「気づき」を得てもらうことを目的に分科会を開催しました。



「分担」「バランス」「コミュニケーション」がキーワードであり、できる範囲で工夫してかかわることが大切だというまとめになりました。

少子化対策に向けて 父親の子育て参画が果たす意義とは？

- 若者を中心に非正規雇用が広がり、賃金の安定的上昇が見込みにくい時代であり、仕事も家事も子育ても、**夫婦でシェアする**のが基本に
- 二人目、三人目を産もうとするとき、父親の参画が絶対不可欠！
二人目、三人目へのインセンティブは、家事や育児に**父親が協力的か**どうかによって左右されるという調査報告も
- 母親に偏りがちな育児をできる範囲で分担すれば、**育児不安の軽減**につながり、ひいては**子ども虐待の防止**などにも
- 「次代の親」を育てるには、父親と母親が協力し、楽しい家庭を築いている**姿を見せる**のが一番の近道
- こうして築いた家族や地域との絆は、少子高齢化の中でも**自助、共助の機能**として働き、結果として社会コストの負担が減らせる



つまり、父親の子育て参画はメリットばかり！

パパスマイル四日市がめざすもの

父親が子育てにかかわる
気運の醸成

子育て支援センターなどに父親がいることが
「ふつう」であるような雰囲気づくり

父親どうしのネットワーキ
ング

「パパ友」づくりにつながる交流機会や情報
交換ツールの活用

父親であることの「誇り」
「自信」「楽しさ」の実感

父親としての「家事・育児力(=パパぢから)」
をアップさせる講座や情報誌など

「ナナメの関係」を通じた
子どもの健全育成

イベントや交流を通じた、親以外の大人との
関係（ナナメの関係）づくり

母親の社会参加、自己
実現へのサポート

父親と子どもの時間をつくることで、母親に
自分の時間、ゆとりを持ってもらう



父親が子育てに楽しみながらかかわることで、父親も子どもも
母親も笑顔になり、そして子育てしやすい地域になる！

みんなの笑顔と、子育てしやすい地域づくりに
向けて **パスマ**  **ル四日市** は活動していきます。